

平成26年度事業活動報告（委員会活動状況）

1. マンション用玄関ドアの耐用年数の技術的研究

マンション玄関ドアの適正な時期での扉交換を促すことでの扉腐食クレーム削減及び玄関ドアの普及促進を図り、耐用年数に関わる性能（耐候性・耐食性・開閉耐久性等）を性能試験を通じ実力を把握しつつ、鋼軽協としての（仮称）耐用年数のガイドライン（扉交換の目安時期等）を取り纏めを行う。

本年度は、事前段階として以下内容を協議してきた。

- ・目的、アウトプット
- ・目的達成のための手法（各種性能試験）の明確化
⇒試験項目・試験内容・試験方法等協議・決定
⇒暴露試験実施候補地検討・決定
- ・各社役割分担、スケジュール及び概算費用算出

※7月より試験体製作に入り、9月より性能試験実施につなげていく予定

2. 新技術の研究（長期優良住宅向け玄関ドア） 【継続事業】

当製品に関わる技術検討は昨年度一定の目処をつけ、本年度はBL化に向けての（財）ベターリビングとの協議及び市場掘り起こしのためのUR都市機構への意見聴取等を（財）ベターリビングと協働にて行った。

UR都市機構に提案内容は評価を得られたが、対象となる新築物件が非常に少なく（数百戸/年）、他市場の掘り起こしが必要不可欠な状況。

3. ホームページの充実 【継続事業】

各社における不具合・クレーム事例などをもとに鋼軽協としての回答事例を会員向け情報として掲載し、会員各社が共通見解のもと迅速に対応ができるようにしていく予定であったが、各社の不具合・クレーム情報収集・分析をすると扉の腐食のクレームが大多数を占めていたことから、テーマ1で行う性能試験結果等踏まえ次年度取組むこととした。

4. 勉強会開催

玄関ドアに関連する技術系の勉強会（日新製鋼：ZAM、美和ロック：廉価版電気錠：IEL ZERO）を開催し、各委員のスキルアップを図った。

※予算等について

テーマ1において、各種性能試験が必要となり継続的資金が必要となるので、試験計画及び概算費用算出を行った。⇒理事会に諮ることとした

以上